

背筋のすつきり伸びた男性が、足どり軽く工場の敷地を進んでいく。ぐんぐん歩いていった先には、全長一六メートルを超す巨大なタンクローリーがあった。

「この中には、マイナス一六二度に冷やされて液体になったLNG（液化天然ガス）が入っています。このガスを安全に工場のタンクに移すのが私の仕事です」

笑顔で語るその男性は紺野英彦さん。現在、八十二歳である。

「空気中の蒸気が冷たいLNGに冷やされて、パイプのまわりに霧状の煙が発生するんですよ。煙、さわってみてください。冷たいでしょ。おっと、パイプにはさわらないでくださいね。皮膚がくっついてとれなくなってしまうます」

危険と隣り合わせの仕事だ。パイプの接合部などを何度も入念にチェックしながら

LNGが完全にタンクに移ったことを確認して、一時間ほどで作業を終えた。

「午前中に一台、午後一台、ここにタンクローリーが入ってきます。LNGが、この食品工場（丸善食品工業 富士小山工場）を動かすエネルギーになるので責任は重大ですね」

きりっとした笑顔には、ひと仕事を終えた充実感がうかがえる。

紺野さんは、高齢者雇用を行なう、その名も「高齢社」という会社に所属する派遣社員だ。この会社は、定年を迎えてもまだまだ元気な高齢者に、働く場と生きがいを提供しようと、二〇〇〇年に設立された。

「創業者が東京ガスのOBで、当初はガス会社やガス機器メーカーの請負業務が中心でしたが、まもなくほかの業務も行なうようになりました。現在、千人を超える方

連載

人生100年時代
生涯現役で働く

第6回

タンクローリーで運ばれた液化天然ガスを安全に工場のタンクに移す——。社員時代の経験を活かして82歳の今も働き続ける人を訪ねました。



工場スタッフ
こんの ひでひこ
紺野英彦さん

足腰を鍛えて、好きなことを自由にやる

取材・文：つじ ゆ み こ
えんどう ひろし
写真：遠藤 宏

の登録があり、事務や営業、現場の作業など幅広い仕事をしていただいています」
 そう教えてくれたのは、高齢社の現在の社長の村関不三夫さんと営業部の浦野義幸マネージャーだ。

紺野さんは、会社員時代に取得した「高圧ガス製造保安責任者」という資格を活かして、現在、静岡県駿東郡にある、この食品工場に派遣されている。

「高齢社から派遣される場合、週三日前後の勤務の方が多いです。基本的には一つの仕事を二人以上でワークシェアリングする形をとっています」

紺野さんも四人の仲間と交代で、週二〜三日この工場に勤務しているという。高齢者が中心の会社だけに、無理のない働き方が工夫されているようだ。

高齢者に特化した就労支援の会社にくぐ

片道二時間半かけて通勤する

紺野さんは一九四〇年、福島県の南相馬で生まれた。父親は郵便局員だったが、紺野さんが中学校三年生のとき、安定した公務員の仕事をやめて、なんと東京で写真館を開いてしまったという。

「父はカメラが趣味で、どうしても写真屋をやりたいと独立しました。無謀な父でしたが、人生は楽しそうでした。自分で暗室をつくり、現像もして、好きなことにのめりこむタイプでしたね」

東京の工業高校を卒業した紺野さんは東京ガスに就職する。深く考えずに入った会社だったが、本当にいい会社だったと紺野さんは振り返る。

「特に福利厚生が充実していましたね。



「地味ですけど、大切な仕事です」と安全を確認する紺野さん。会社員時代に取得した国家資格が、今の仕事につながっている

りあえたことが、紺野さんの生涯現役を支えていると言っても間違いないだろう。
 紺野さんが現役で働き続けるモチベーションはどこにあるのだろうか。仕事に対する考え方や生き方について聞いた。

工場には、お風呂や食堂、運動場も完備されていました。まだ土曜日に出勤していた時代で、その日は半ドンといって午前中で仕事が終わります。午後は、みんな野球をしたり、飲みにいったり。三十歳ごろからはスキーに夢中になって、シーズン中の週末はスキー三昧でした」

プライベートでは、二十七歳で同郷の女性とお見合い結婚し、長女、長男にも恵まれて順風満帆な会社員生活を送った。

勤務地を複数経験しながら、さまざまな業務にたずさわり、六十五歳でめでたく定年を迎えている。

「これからは自由に好きなことをしよう」と、一年は何もしないでブラブラ遊んでいたんです。でも、家でずっと妻と顔をつきあわせる生活もね、と思って（笑）」

そのころ、東京ガスの先輩が高齢社とい



「働くから元気でいられるんだと思います。今、本当に楽しくて、ありがたいですね」

う会社を立ちあげたことを知った。「元同僚もそこに登録して働いているというし、興味を持って会社を訪ねてみたんです。社長と話してみたら、会社の雰囲気があたたかくて、働く人たちも信頼できそうでした。ここなら働けるな、と気分転換のつもりで登録することにしたんです」

最初は、新築マンションでガス器具の説明をする営業の仕事について。二年ほどその仕事を続けたあと複数の業務を経て、現在の食品工場に勤務することになった。

「私は工場勤務が長かったので、どちらかという現場の仕事のほうが肌に合います。神奈川県の実家から電車とバスを乗り継いで、通勤に片道二時間半かかるのですが、週二〜三回だし、小旅行だと思えばちよどいい。都心への通勤と電車の向きが逆なので、往復とも座っていただけますね」

るといふ。派遣先の丸善食品工業の西澤昭男次長と宮原一樹係長は、こう語る。

「紺野さんは人生の先輩であり、仕事での経験も豊富です。学べるものがたくさんあります。お元氣なあいだは、いつまでも働いていただきたいですね」

紺野さんが高齢社で働き始めたころ、昔の職場でのプライドをひきずって苦勞している人を見たことがあり、それから特に謙

気がつけば、もう九年もこの工場での仕事を続けている。ほかの業務もふくめると高齢社での勤務は通算十七年におよび、派遣者の中でとうとう紺野さんが最高齢になったという。

毎日が楽しくてたまらない

高齢社の村関社長によると、高齢者が長く仕事を続けるには、二つの条件があるという。

「一つは、感謝の気持ちを持って謙虚でいることです。かつての勤務先に派遣されることもありますから、会社員時代の自分の立場や役職を一度リセットすることが大切です」

その点、紺野さんは、とてもうまくやっています、職場で若い人たちから慕われてい

虚さを大切にしているという。

「昔から、郷に入っては郷に従え、と言うでしょう。どこで働いても新人のつもりで、その風習や決まりに従います」

年齢差がある人の多い職場でいい人間関係を築くには、紺野さんのように、素直に、誠実に、つねに腰を低くしていることが大切だとわかる。

高齢者が長く仕事を続ける条件の二つ目は、ハッピーに働くことだといふ。

「お金のために、いやいや働くのは長続きしません。人生を楽しみながら、少しだけお金を稼ぐ。そんな姿勢のほうが長く働けますね」

村関社長は、定年後こそハッピーに働けるチャンスだと語る。

「現役時代は出世が気になるし、住宅ローンや子どもの教育費もあります。でも定

年後は、ほとんどの人がそれらから解放されますよね。年金も入ってくるので、お金はそこそこ稼げればいい。定年後の人生のほうがかもハッピーかもしれません」

紺野さんの生き方も、まさに村岡社長の語るハッピーな働き方に合致している。なぜなら毎日が楽しくてたまらないからだ。

「はじめは、こんな年齢になっても働いているなんて少し恥ずかしいと思ったものです。でも、時代が変わって、みんなが私のことをうらやましいと言っています」

仕事があると、日々の生活にメリハリが生まれる。紺野さんには趣味がたくさんあるが、趣味だけだったら、そのうち飽きてしまうかもしれない。

「仕事があるからこそ、それが日々の生活のアクセントになって、趣味をより楽しめます。スキーもスケジュールをやりくり

ージャンと多岐にわたる。

紺野さんの手帳は予定でびっしり。趣味の予定に混ざって仕事の予定が入っているのを見ると、仕事もまるで趣味の一部のように見えてしまうから不思議だ。紺野さんにとって今の仕事は、人生をより楽しく過ごすためのスパイスなのかもしれない。

最後に、紺野さんにとって幸せとは何かを聞いてみた。即答で返ってきたのは「自由好きなことができること」。

「そのためには、特に足腰の健康が必須です。足腰さえ丈夫なら、なんでもできるし、どこへでも行けます」

片道二時間半もかけて通勤していることが、足腰を鍛えるトレーニングになっている。駅では階段を使う。それに加えて、工場から最寄り駅までの帰り道では、バスを使わず、駅まで三十分ほどかけて歩いてい



きびきびとした動き。「特別なことはやっていません。日々の通勤と趣味がいい運動になっています」

して行くから楽しいんです。それに、仕事終わりに飲むビールのおいしいことといったら（笑）。毎日が日曜日だったら、ビールだってこんなにおいしくないでしょう」

ちなみに紺野さんの趣味は、会社員時代から続けているスキーのほかに、七十歳から始めた社交ダンス、最近始めた詩吟、マ

るといふ。すごい脚力だ。

すつきり伸びた背筋や、八十二歳とは思えない俊敏な動きも、長距離通勤やウォーキングのたまものというわけだ。

「仕事の日は、歩数が一万五千歩を超えます。万歩計で今日はどれくらい歩いたか確認するのが楽しみですね」

夢は妻と世界一周のクルージングに出かけることだそうだ。これからも健康を維持して、元気な限り仕事を続けていきたいと紺野さんは笑って語ってくれた。

紺野英彦さんに学ぶ

生涯現役で働くヒント

- ① 謙虚な姿勢を大切に
- ② 楽しみながらお金を稼ぐ
- ③ 足腰を鍛えて健康を維持



◀ WEB「PHPLあわせファクトリー 生涯現役で働く」では、今回の取材の動画などを公開しています